

(様式第1号)

エネルギー供給温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書

1 事業者等の概要

氏名又は名称	テス・エンジニアリング株式会社				
代表者名	氏名	高崎 敏宏	役職名	代表取締役	
主たる事務所の所在地	〒532-0011 大阪市淀川区西中島6丁目1番1号				
事業者の区分	<input checked="" type="checkbox"/>	条例施行規則第15条第2項に該当する小売電気事業者			
	<input type="checkbox"/>	その他の事業者			
主たる事業の概要	コージェネレーションシステムを始めとした、各種環境・省エネ対策システム等導入の為の事業所診断、設計、調達、施工、メンテナンス、24時間監視システム、エネルギーマネジメントシステムによる運用管理サポート、エネルギー供給サービス、小売電気事業、発電事業、オンサイトPPA				
		基準年度実績	第一年度報告	第二年度報告	第三年度報告
電力供給量(総量)	千kWh	88,217	12,102	31,156	
電力供給量(長野県)	千kWh	474	107	97	

2 基準年度、計画期間及び報告対象年度

基準年度	2022	年度	計画期間	2023	年度～	2025	年度
報告対象年度	2024	年度					

3 公表方法等

<input type="checkbox"/>	ホームページ	当社大阪本社にて閲覧可能 担当部署：電力小売チーム 連絡先：06-6309-6778 平日9:00～17:30
<input checked="" type="checkbox"/>	印刷物の閲覧 (閲覧場所・時間等)	
<input type="checkbox"/>	その他	

(様式第1号)

4 エネルギーの供給に係る地球温暖化対策のための基本方針

1. 当社の主力商品であるコージェネレーションシステム及び各種省エネ装置を通して、省エネルギーと地球温暖化ガスのひとつであるCO2排出量の削減に貢献します。
2. 汚染の予防、省エネルギー、並びに省資源を推進します。
3. 環境関連法令並びに同意したその他の要求事項を遵守します。

5 エネルギー供給温暖化対策計画の推進に係る体制

品質向上・ISO推進委員会
監理責任者：ISO担当取締役
点検体制：ISO事務局及び外部審査機関による審査、排出係数は環境省への報告審査

(様式第1号)

6 供給するエネルギーの製造等に伴い排出される二酸化炭素の量の削減に関する目標等

基準年度	基礎排出係数	0.000475	t-CO ₂ /kWh
2022年度	調整後排出係数	0.000593	t-CO ₂ /kWh
目標年度	目標排出係数	0.000450	t-CO ₂ /kWh
2025年度	目標削減率	5.26	%
目標設定に関する説明	今後の電源の調達見込みを踏まえ目標設定した。		
第一年度	基礎排出係数	-0.000911	t-CO ₂ /kWh
	調整後排出係数	0.000192	t-CO ₂ /kWh
2023年度	削減率	291.78	%
	エネルギーの製造等に伴い排出されたCO ₂ 量	0	千t-CO ₂
排出係数等の増減理由	FIT電気等の再エネ電気の調達割合が増えたため。		
第二年度	基礎排出係数	0.000188	t-CO ₂ /kWh
	調整後排出係数	0.000188	t-CO ₂ /kWh
2024年度	削減率	60.42	%
	エネルギーの製造等に伴い排出されたCO ₂ 量	2.276	千t-CO ₂
排出係数等の増減理由	FIT電気等の再エネ電気の調達割合が増えたため。		
第三年度	基礎排出係数		t-CO ₂ /kWh
	調整後排出係数		t-CO ₂ /kWh
2025年度	削減率		%
	エネルギーの製造等に伴い排出されたCO ₂ 量		千t-CO ₂
排出係数等の増減理由			

(様式第1号)

7 上記6の目標を達成するための措置

再生可能エネルギーの積極的な利用。
排出量無効化クレジットの活用。

8 調達する電気の電源構成に関する見通しと実績

区分	調達する電気の電源構成の割合 (W・h比)								
基準年度	石炭火力		%	原子力		%	再生可能エネルギー源 (水力及びFIT電気を除く)	6	%
	LNG火力		%	水力		%	卸電力取引所 ^{※3}	14	%
2022 年度	石油火力		%	FIT電気 ^{※2}	30	%	その他 (インバランス補給、常時バックアップ、BG間融通、相対契約電源等)	50	%
最終年度における見通し ^{※1}	石炭火力		%	原子力		%	再生可能エネルギー源 (水力及びFIT電気を除く)	10	%
	LNG火力		%	水力		%	卸電力取引所 ^{※3}	35	%
2025 年度	石油火力		%	FIT電気 ^{※2}	20	%	その他 (インバランス補給、常時バックアップ、BG間融通、相対契約電源等)	35	%
第一年度	石炭火力		%	原子力		%	再生可能エネルギー源 (水力及びFIT電気を除く)	22	%
	LNG火力		%	水力		%	卸電力取引所 ^{※3}		%
2023 年度	石油火力		%	FIT電気 ^{※2}	75	%	その他 (インバランス補給、常時バックアップ、BG間融通、相対契約電源等)	3.5	%
第二年度	石炭火力		%	原子力		%	再生可能エネルギー源 (水力及びFIT電気を除く)	28	%
	LNG火力		%	水力		%	卸電力取引所 ^{※3}	2.4	%
2024 年度	石油火力		%	FIT電気 ^{※2}	61	%	その他 (インバランス補給、常時バックアップ、BG間融通、相対契約電源等)	8.3	%
第三年度	石炭火力		%	原子力		%	再生可能エネルギー源 (水力及びFIT電気を除く)		%
	LNG火力		%	水力		%	卸電力取引所 ^{※3}		%
2025 年度	石油火力		%	FIT電気 ^{※2}		%	その他 ()		%
備考									

※1 「最終年度における見通し」欄には、基準年度時点における事業者の電気の調達計画等の見通しに基づき、特定期間の最終年度を算定期間とする電源構成の概算の見込み割合を記載する。

※2 「FIT電気」とは、電気事業者による再生可能エネルギー電気の調達に関する特別措置法に基づく認定施設から買い取られた電気で、その調達費用の一部が全電気利用者が負担する賦課金により賄われている電気を指す。

※3 「卸電力取引所」とは、電力の卸取引を行う取引所であって、電気事業法第97条第1項に規定される指定を受けた卸電力取引所を指す。

(様式第1号)

9の1 再生可能エネルギー源により発電された電気の調達量に関する見通しと実績

区分	調達量				再生可能エネルギー源の種類 (内訳)				
					電源	種類別調達量			
	県内分		再生可能エネルギー 電気 (FIT電気を除く)	FIT電気					
基準年度	32,936	千kWh	0	千kWh	太陽光		千kWh		千kWh
					風力		千kWh		千kWh
					水力		千kWh		千kWh
					バイオマス	5,782	千kWh	27,154	千kWh
					その他 (地熱)		千kWh		千kWh
2022 年度									
最終年度 における 見通し	23,000	千kWh	0	千kWh	太陽光		千kWh		千kWh
					風力		千kWh		千kWh
					水力		千kWh		千kWh
					バイオマス	3,000	千kWh	20,000	千kWh
					その他 (地熱)		千kWh		千kWh
2025 年度									
第一年度	11,435	千kWh	0	千kWh	太陽光	572	千kWh		千kWh
					風力		千kWh		千kWh
					水力		千kWh		千kWh
					バイオマス	2,287	千kWh	8,576	千kWh
					その他 (地熱)		千kWh		千kWh
2023 年度									
第二年度	33,586	千kWh	0	千kWh	太陽光	4,833	千kWh		千kWh
					風力		千kWh		千kWh
					水力		千kWh		千kWh
					バイオマス	5,831	千kWh	22,922	千kWh
					その他 (地熱)		千kWh		千kWh
2024 年度									
第三年度		千kWh		千kWh	太陽光		千kWh		千kWh
					風力		千kWh		千kWh
					水力		千kWh		千kWh
					バイオマス		千kWh		千kWh
					その他 ()		千kWh		千kWh
2025 年度									
備考									

(様式第 1 号)

9 の 2 再生可能エネルギーの普及・供給拡大に関する取組

発電事業を実施するにあたり、各種法令遵守の徹底に加え、地元の方に向けた住民説明会や見学会等の取組を通じて地域との対話を継続していくことで、地域との共生を目指しております。

1 0 エネルギーの供給に係る温室効果ガス排出の量の削減の研究と取組

なし

1 1 需要家の省エネルギー対策の推進に関する取組

区分	実施内容
高効率機器の普及促進	なし
家庭・事業者の省エネルギー対策への協力	需要家に対し、使用量の見える化サービスを提供し、節電意識を高める。
その他	

※ 需要家に対して節電や省エネを誘導する料金体系を導入している場合は、「その他」に記載する。

(様式第1号)

12の1 地域との連携に関する取組の実施状況

基準年度までに実施した内容	なし
第一年度実績	なし
第二年度実績	なし
第三年度実績	

12の2 その他、温暖化対策に関する取組の実施状況

区分	実施内容
基準年度までに実施した対策	FIT制度を活用した太陽光発電事業、小型風力発電事業を実施。 自家消費型太陽光システムの提案と設置 CGSの導入提案。
第一年度実績	FIP制度を活用した太陽光発電事業、小型風力発電事業を実施。 自家消費型太陽光システムの提案と設置。 CGSの導入提案。
第二年度実績	なし
第三年度実績	

(様式第1号)

1.3 自由記載欄

A large rectangular area with a light green background and a black border, intended for free text entry. The area is currently empty.